

『一般廃棄物減量計画書』の書き方

大垣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例（抜粋）

（事業用大規模建築物の所有者等の義務）

第6条 事業活動に伴い多量の一般廃棄物を生ずる建物で規則で定めるもの（以下「事業用大規模建築物」という。）の所有者又は占有者は、市長の指示に従い、一般廃棄物の減量に関する計画を作成し、当該計画書を市長に届け出なければならない。

大垣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則（抜粋）

（事業用大規模建築物）

第7条 条例第6条第1項に規定する事業活動に伴い多量の一般廃棄物を生ずる建物で規則で定めるもの（以下「事業用大規模建築物」という。）は、事業用途に供する延床面積が、1,000平方メートル以上の建築物とする。

2 事業用大規模建築物の所有者又は占有者は、条例第6条第1項の規定により、一般廃棄物減量計画書（第1号様式）により毎年5月末日までに市長に提出しなければならない。

事業用大規模建築物とは

事業活動に伴い、一般廃棄物を生ずる建物

店舗、事務所、旅館、料理店その他これらに類する用途で、事業系一般廃棄物を生ずる建物が対象になります。アパート、マンションなど主に家庭系一般廃棄物を排出する建物は対象になりません。

事業用途に供する延床面積が1,000㎡以上の建築物

「事業用途に供する延床面積」は、居住用途に供する延床面積を除いた面積です。

「延床面積」は棟が単位となりますが、工場・学校・病院など同一敷地内において共通の用途に供せられ、廃棄物の処理及び保管が一体として行われる場合には、各建物の延床面積の合計により事業用大規模建築物となる場合があります。

一般廃棄物減量計画書は、事業用大規模建築物の所在地ごとに提出してください。店や事業所・工場等が複数あり、いずれも事業用大規模建築物に該当する場合は、各建築物の所在地ごとにそれぞれ提出してください。

- ① 届出者・・・・・・・・大規模建築物の所有者または占有者。所有者と占有者が異なる場合には占有者が廃棄物を管理している場合を除き所有者が届出者となります。
法人におきましては、その名称と代表者を併記してください。
- ② 建物の種類・・・・・・・・該当するものに○を付けてください。その他の場合は、具体的に記入してください。
- ③ 事業所の概要・・・・・・・・対象となる事業用大規模建築物について記入してください。
 - A 名称、所在地・・・・・・・・建物に名称がある場合はその名称を、ない場合は事業所の名称を記入してください。
 - B 延床面積・・・・・・・・同一敷地内において、複数の建物が同一の目的のため一体として利用されている場合（工場・学校・病院等）は、すべての建物をあわせた延床面積を記入してください。
 - C 建物棟数・・・・・・・・上記延床面積の対象となる建物の総棟数を記入してください。
 - D 担当・・・・・・・・事業用大規模建築物において、廃棄物の管理を担当している部署を記入してください。また、本調査に関する連絡先が異なる場合は、併記してください。
- ④ ごみ減量及び再資源化で取り組んでいること
ごみ減量や資源化率（再利用量／排出量）向上のために取り組む方策や新たに再利用に取り組む品目、排出自体を減らす方策などを記入してください。

一般廃棄物減量計画書

令和 年 月 日

大垣市長 様
(クリーンセンター計画総務G)

① 住所 大垣市丸の内〇丁目〇〇番地
届出者 (氏名又は法人にあつては名称及びその代表者の氏名)

〇〇環境物産(株)
代表取締役 五味 源良

※印は必要ありません

廃棄物の処理及び清掃に関する条例第6条第1項の規定により、一般廃棄物の減量に関する計画を、次のとおり届け出ます。

② 建物の種類 (〇を付けてください)	a. 店舗 b. 飲食店 ③ 事務所、営業所 d. 工場、事業場 e. 倉庫、配送センター f. ホテル、旅館 g. 学校、保育所 h. 病院、医療機関 i. 娯楽施設 j. コンビニ k. スーパー等 l. 教育、学習支援 m. その他 ()
③ 事業所の概要	名称 丸の内環境ビル
	所在地 大垣市丸の内〇丁目〇〇番地
	延床面積 [B] 2,315 m ² 建物棟数 [C] 2棟
④ ごみ減量及び再資源化で取り組んでいること	担当 総務課 分別 進 [D] 電話 0584 (〇〇) 〇〇〇〇 内線 503
ごみ減量及び再資源化で取り組んでいること	秘密文書については融解処理で再資源化ができる業者に委託する。

一般廃棄物とは

人々の日常生活から排出されるごみやし尿など

一般廃棄物の内、事業活動によって生じるものを「事業系一般廃棄物」と呼びます。「一般廃棄物の内容」では事業系一般廃棄物の中でし尿を除いた紙類・厨芥（生ごみ）・びん・缶などの排出・減量状況を記入していただきます。

一般廃棄物の種類

例記してある一般廃棄物の種類に添って数値を記入してください。紙類で分類できない場合は、「その他紙類」に一括して記入してください。該当する種類がない場合は空欄に書き加えてください。

⑤ 前年度の実績・・・・・・・・・・令和2年4月1日から令和3年3月31日までの見込を記入してください。

E 廃棄物の排出量（A）kg・・再利用（リサイクル）せずごみとして処分した重量

F 資源化量（B）kg・・・・・・・・再利用した資源化物の重量。

G 合計（C=A+B）kg・・・・・・・・該当する大規模建築物から排出される一般廃棄物の総重量。

H 処理区分・・・・・・・・・・記入用紙下段に一覧があります。処理区分欄記入コードの番号から選択してください。

I 回収・収集業者名・・・・・・・・処分、再利用を依頼した業者名等を記入してください。

※ 排出量・処分量など、概数で差し支えありません。

※ 業者収集等のため量を把握していない場合は、委託業者にご確認ください。

⑥ 本年度の見込み・・・・・・・・・・令和3年4月1日から令和4年3月31日までの見込みを記入してください。

一般廃棄物減量の実績及び見込み

廃棄物の種類		⑤ 前年度の実績				
		廃棄物の排出量 (A) kg E	資源化量 (B) kg F	合計 (C=A+B) kg G	処理区分 ※1 H	回収・収集業者の名称 I
資源化の対象物	紙 (OA用紙)					
	新聞紙					
	ダンボール					
	秘密書類					
	その他紙類					
	ビン					
	缶					
	ペットボトル					
	生ごみ					
	その他					
合計						

廃棄物の種類		⑥ 本年度の見込み				
資源化の対象物	紙 (OA用紙)					
	新聞紙					
	ダンボール					
	秘密書類					
	その他紙類					
	ビン					
	缶					
	ペットボトル					
	生ごみ					
	その他					
合計						

※ 1 処理区分欄記入コード (次の中から該当する番号を記入してください)

1. 許可業者に収集委託	2. 自ら市の施設に搬入	3. 資源回収業者に収集委託
4. 自治会・PTA等が行う資源回収	5. メーカー、納入業者等が引取	6. 地域のごみステーション
7. その他 ()		

大 垣 市

生活環境部

クリーンセンター（計画総務グループ）

〒503-0847

大垣市米野町3丁目1番地1

電話 (0584) 89-4124 / F A X (0584) 89-6090

